



## 2020年3月期 決算短信(日本基準)(非連結)

2020年5月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 研創

コード番号 7939 URL <https://www.kensoh.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 大一郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長 (氏名) 浦上 忠久

定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 配当支払開始予定日 2020年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

TEL 082-840-1000

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

#### (1) 経営成績

(％表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	6,013	2.0	248	19.8	242	24.1	165	17.6
2019年3月期	5,897	2.6	310	17.7	319	15.9	201	20.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	44.56		7.2	4.1	4.1
2019年3月期	54.06		9.3	5.5	5.3

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	5,907	2,364	40.0	634.93
2019年3月期	5,955	2,238	37.6	601.02

(参考) 自己資本 2020年3月期 2,364百万円 2019年3月期 2,238百万円

#### (3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	109	211	315	352
2019年3月期	307	138	14	357

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		0.00		10.00	10.00	37	18.5	1.7
2020年3月期		0.00		10.00	10.00	37	22.4	1.6
2021年3月期(予想)								

(注) 2021年3月期の配当予想につきましては、未定としております。

### 3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。

## 注記事項

### (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

### (2) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	4,022,774 株	2019年3月期	4,022,774 株
期末自己株式数	2020年3月期	298,195 株	2019年3月期	298,195 株
期中平均株式数	2020年3月期	3,724,579 株	2019年3月期	3,724,579 株

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2021年3月期の業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大による影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに公表いたします。なお、業績予想の詳細につきましては、決算短信(添付資料)3ページ「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	2
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 貸借対照表 .....	4
(2) 損益計算書 .....	6
(3) 株主資本等変動計算書 .....	8
(4) キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(追加情報) .....	11
(持分法損益等) .....	11
(セグメント情報) .....	11
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当事業年度（2019年4月1日から2020年3月31日まで）における世界経済は、貿易摩擦激化や地政学的リスクの高まり等によって減速感が強まり、先行き不透明な状況で推移しました。

一方、国内経済におきましては、減速する世界経済の影響により外需に弱めの動きが見られたものの、公共投資や企業の設備投資が底堅く、労働需給の引き締めも高まるなかで緩やかな拡大基調で推移しました。また、当社の経営成績に影響を与える建築動向も、引き続き堅調に推移しました。

しかし、2019年11月に発生が確認された新型コロナウイルスの感染拡大は、人・モノの動きの遮断、経済活動抑制、金融市場の不安定化等をもたらし、国内外の経済に大きなインパクトを与え、先行き不透明感が増しております。

このような経済状況のもと、当社は ①製品品質の向上 ②生産性・利益率の向上 ③「研創働き方改革」の推進 ④「常に学び 研究し 創造する」人材の育成 といった重点推進課題を掲げ、課題解決に向けた取り組みを推進しました。

これらの結果、当事業年度の売上高は60億13百万円（前年同期比2.0%増）、営業利益は2億48百万円（前年同期比19.8%減）、経常利益は2億42百万円（前年同期比24.1%減）、当期純利益は1億65百万円（前年同期比17.6%減）となりました。

また、当社はサイン製品事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの経営成績については記載を省略しております。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当事業年度末における流動資産は27億53百万円となり、前事業年度末に比べ1億円減少しました。これは主に売上債権が46百万円減少したことによるものであります。固定資産につきましては31億53百万円と、前事業年度末に比べ52百万円増加しました。この結果、総資産は59億7百万円となり、前事業年度末に比べ48百万円減少しました。

#### (負債)

当事業年度末における流動負債は28億86百万円となり、前事業年度末に比べ1億48百万円減少しました。これは主に仕入債務が4億49百万円減少したことによるものであります。また、固定負債は6億55百万円となり、前事業年度末に比べ25百万円減少しました。

この結果、負債合計は35億42百万円となり、前事業年度末に比べ1億74百万円減少しました。

#### (純資産)

当事業年度末における純資産合計は23億64百万円となり、前事業年度末に比べ1億26百万円増加しました。これは主に繰越利益剰余金が1億25百万円生じたことによるものであります。

この結果、自己資本比率は40.0%（前事業年度末は37.6%）となりました。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動による支出、投資活動による支出、財務活動による収入の差引の結果、前事業年度末に比べ5百万円の減少となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度の営業活動の結果使用した資金は1億9百万円となりました（前事業年度は3億7百万円の収入）。この主たる要因は金融機関の休日の関係で仕入債務の減少額が4億49百万円であったことによるもの（前事業年度は1億7百万円の増加）であります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度の投資活動の結果使用した資金は2億11百万円となり、前事業年度と比べ72百万円増加しました。この主たる要因は有形固定資産の取得による支出が1億75百万円と前事業年度と比べ87百万円増加したことによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度の財務活動の結果得られた資金は3億15百万円となり、前事業年度に比べ3億円増加しました。この主たる要因は有利子負債の増加額が3億53百万円と前事業年度より2億83百万円増加したことによるものであります。

なお、キャッシュ・フローの指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
自己資本比率 (%)	37.1	37.6	40.0
時価ベースの自己資本比率 (%)	33.2	25.6	21.4
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	1.4	3.4	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	97.2	65.5	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注2) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注3) 有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(注4) 2020年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

#### (4) 今後の見通し

今後のわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大によって、企業業績や国内外の経済情勢に対する見通しが極めて不透明な状況です。

また、当社業績に影響を及ぼす建築業界動向は、2021年に開催延期となった東京オリンピック・パラリンピック開催を控えた物件や全国的な都市再開発案件等の増加傾向が確認できるものの、新型コロナウイルスの感染拡大が収束するまでの間は、経済活動を抑制せざるを得ないため、予断を許さない状況が続くものと思われまます。

以上の状況を見据え、次期は次のとおりの全社重点推進課題を掲げ、課題解決に向けて取り組んで参ります。

- ①製品品質の向上
- ②生産性・利益率の向上
- ③樹脂製サインの市場競争力確保
- ④人材の育成

なお、新型コロナウイルス感染の世界的拡大による当社業績への影響につきましては、現時点においては限定的ではあるものの、今後、全国的に外出禁止や企業活動の制限など感染拡大防止の措置が長期間続いた場合、当社が製造するサイン製品を設置する建設現場において工事の中止・延期などが発生し、当社の受注量が減少する等工場の稼働に悪影響を及ぼす可能性があります。こうした事態による当社業績への影響は、現時点で算定することが極めて困難であることから、2021年3月期の業績予想及び配当につきましては未定と致します。

今後、業績予想の算定が可能となった段階で、速やかに公表する予定です。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は連結財務諸表を作成していないため、日本基準及び国際会計基準による並行開示の負担等を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	489,628	484,308
受取手形	650,530	566,589
電子記録債権	137,838	153,171
売掛金	1,254,237	1,276,715
商品及び製品	37,292	46,224
仕掛品	88,152	66,930
原材料及び貯蔵品	112,122	141,323
前払費用	3,525	2,336
その他	81,441	16,511
貸倒引当金	△1,005	△742
流動資産合計	2,853,764	2,753,370
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,820,224	3,207,864
減価償却累計額	△2,142,833	△2,414,247
建物(純額)	677,391	793,616
構築物	366,743	389,885
減価償却累計額	△295,279	△315,977
構築物(純額)	71,464	73,908
機械及び装置	772,443	868,917
減価償却累計額	△701,530	△755,611
機械及び装置(純額)	70,913	113,306
車両運搬具	85,347	89,841
減価償却累計額	△80,214	△85,290
車両運搬具(純額)	5,132	4,551
工具、器具及び備品	134,956	136,014
減価償却累計額	△119,065	△123,077
工具、器具及び備品(純額)	15,890	12,936
土地	1,432,420	1,680,159
建設仮勘定	—	3,346
有形固定資産合計	2,273,212	2,681,824
無形固定資産		
ソフトウェア	14,980	8,983
ソフトウェア仮勘定	6,005	11,053
電話加入権	6,649	6,649
無形固定資産合計	27,635	26,687
投資その他の資産		
投資有価証券	31,182	27,694
投資不動産(純額)	382,114	—
出資金	285	285
株主、役員又は従業員に対する長期貸付金	52,759	46,765
破産更生債権等	1,035	845
繰延税金資産	95,188	101,910
その他	239,151	268,725
貸倒引当金	△1,035	△845
投資その他の資産合計	800,681	445,380
固定資産合計	3,101,529	3,153,891
資産合計	5,955,294	5,907,262

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	1,378,191	1,008,546
買掛金	368,616	288,332
短期借入金	510,000	900,000
1年内返済予定の長期借入金	268,462	268,504
未払金	206,404	136,563
未払費用	71,444	69,887
未払法人税等	53,080	43,337
前受金	457	149
預り金	10,385	10,466
賞与引当金	93,697	92,475
その他	74,803	68,520
流動負債合計	3,035,542	2,886,782
固定負債		
長期借入金	280,300	243,504
退職給付引当金	126,134	148,127
役員退職慰労引当金	273,150	262,350
資産除去債務	1,631	1,655
固定負債合計	681,215	655,636
負債合計	3,716,758	3,542,419
純資産の部		
株主資本		
資本金	664,740	664,740
資本剰余金		
その他資本剰余金	264,930	264,930
資本剰余金合計	264,930	264,930
利益剰余金		
利益準備金	34,145	37,869
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	1,372,910	1,497,917
利益剰余金合計	1,407,055	1,535,787
自己株式	△106,770	△106,770
株主資本合計	2,229,956	2,358,687
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,579	6,155
評価・換算差額等合計	8,579	6,155
純資産合計	2,238,535	2,364,842
負債純資産合計	5,955,294	5,907,262

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	5,897,893	6,013,290
売上原価		
製品期首たな卸高	57,707	37,292
当期製品製造原価	4,033,432	4,178,810
合計	4,091,139	4,216,103
製品期末たな卸高	37,292	46,224
製品売上原価	4,053,847	4,169,878
売上総利益	1,844,046	1,843,411
販売費及び一般管理費		
販売費	388,553	441,267
一般管理費	1,145,186	1,153,218
販売費及び一般管理費合計	1,533,740	1,594,485
営業利益	310,306	248,926
営業外収益		
受取利息	1,256	769
受取配当金	970	970
受取地代家賃	25,659	1,958
助成金収入	5,060	473
受取手数料	962	871
その他	1,553	1,234
営業外収益合計	35,461	6,278
営業外費用		
支払利息	4,699	3,556
債権保全利息	6,782	6,188
不動産賃貸費用	14,183	—
ライセンス費用	—	2,317
その他	758	774
営業外費用合計	26,424	12,836
経常利益	319,343	242,367
特別利益		
固定資産売却益	254	—
補助金収入	61,345	—
特別利益合計	61,599	—
特別損失		
固定資産除却損	62	14
災害による損失	59,948	—
固定資産圧縮損	20,608	—
特別損失合計	80,618	14
税引前当期純利益	300,323	242,352
法人税、住民税及び事業税	104,045	82,032
法人税等調整額	△5,057	△5,657
法人税等合計	98,987	76,375
当期純利益	201,336	165,977

製造原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)		当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
		金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)
I 材料費		878,910	21.6	883,333	21.2
II 労務費	※1	952,628	23.4	990,812	23.7
III 経費	※2	2,235,138	55.0	2,300,800	55.1
当期総製造費用		4,066,676	100.0	4,174,945	100.0
期首仕掛品たな卸高		70,164		88,152	
合計		4,136,841		4,263,098	
他勘定振替高	※3	15,256		17,356	
期末仕掛品たな卸高		88,152		66,930	
当期製品製造原価		4,033,432		4,178,810	

原価計算の方法

原価計算の方法は、個別原価計算であります。

(注) ※1. 引当金繰入額の内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
賞与引当金繰入額 (千円)	50,780	51,679
退職給付費用 (千円)	12,373	22,781

※2. 経費の主な内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
外注加工費 (千円)	1,879,400	1,881,792
消耗品費 (千円)	170,213	177,019
減価償却費 (千円)	62,979	99,995

※3. 他勘定振替高の内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
広告宣伝費 (千円)	11,157	10,481
開発研究費 (千円)	1,969	2,181
その他 (千円)	2,129	4,692
合計 (千円)	15,256	17,356

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	664,740	264,930	264,930	28,558	1,233,029	1,261,588
当期変動額						
利益準備金の積立				5,586	△5,586	—
剰余金の配当					△55,868	△55,868
当期純利益					201,336	201,336
純資産の部に直接計上された その他有価証券評価 差額金の増減						
当期変動額合計	—	—	—	5,586	139,880	145,467
当期末残高	664,740	264,930	264,930	34,145	1,372,910	1,407,055

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差 額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△106,770	2,084,488	12,343	12,343	2,096,832
当期変動額					
利益準備金の積立		—			—
剰余金の配当		△55,868			△55,868
当期純利益		201,336			201,336
純資産の部に直接計上された その他有価証券評価 差額金の増減			△3,764	△3,764	△3,764
当期変動額合計	—	145,467	△3,764	△3,764	141,703
当期末残高	△106,770	2,229,956	8,579	8,579	2,238,535

当事業年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

（単位：千円）

	株主資本					
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		
		その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	664,740	264,930	264,930	34,145	1,372,910	1,407,055
当期変動額						
利益準備金の積立				3,724	△3,724	—
剰余金の配当					△37,245	△37,245
当期純利益					165,977	165,977
純資産の部に直接計上された その他有価証券評価 差額金の増減						
当期変動額合計	—	—	—	3,724	125,007	128,731
当期末残高	664,740	264,930	264,930	37,869	1,497,917	1,535,787

	株主資本		評価・換算差額等		純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差 額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△106,770	2,229,956	8,579	8,579	2,238,535
当期変動額					
利益準備金の積立		—			—
剰余金の配当		△37,245			△37,245
当期純利益		165,977			165,977
純資産の部に直接計上された その他有価証券評価 差額金の増減			△2,424	△2,424	△2,424
当期変動額合計	—	128,731	△2,424	△2,424	126,307
当期末残高	△106,770	2,358,687	6,155	6,155	2,364,842

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当事業年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	300,323	242,352
減価償却費	110,254	136,407
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	561	△453
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6,815	△1,222
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,574	21,993
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	—	△10,800
受取利息及び受取配当金	△2,226	△1,739
支払利息	4,699	3,556
固定資産除却損	62	14
災害損失	59,948	—
固定資産売却損益 (△は益)	△254	—
固定資産圧縮損	20,608	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△36,478	46,130
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△6,724	△16,911
仕入債務の増減額 (△は減少)	107,199	△449,929
その他の資産の増減額 (△は増加)	△57,567	3,350
その他の負債の増減額 (△は減少)	△654	△49,664
小計	510,141	△76,915
利息及び配当金の受取額	2,233	1,739
利息の支払額	△4,597	△3,809
補助金の受取額	—	61,344
災害損失の支払額	△59,569	△378
法人税等の支払額	△140,262	△91,558
営業活動によるキャッシュ・フロー	307,944	△109,579
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△142,000	△132,000
定期預金の払戻による収入	116,000	132,000
有形固定資産の取得による支出	△88,718	△175,813
有形固定資産の売却による収入	416	—
無形固定資産の取得による支出	△1,495	△13,498
敷金・保証金等の増減額 (△は増加)	△29,506	△29,574
貸付けによる支出	△3,900	△2,660
貸付金の回収による収入	11,060	10,493
投資活動によるキャッシュ・フロー	△138,142	△211,053
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△110,000	390,000
長期借入れによる収入	500,000	276,000
長期借入金の返済による支出	△320,598	△312,754
配当金の支払額	△54,928	△37,933
財務活動によるキャッシュ・フロー	14,473	315,312
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	184,275	△5,320
現金及び現金同等物の期首残高	173,353	357,628
現金及び現金同等物の期末残高	357,628	352,308

(5) 財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。

(追加情報)

(資産の保有目的の変更)

当事業年度において、保有目的の変更により、投資不動産(純額)382,114千円を有形固定資産に振り替えております。

(持分法損益等)

該当する関連会社がないため、記載しておりません。

(セグメント情報)

前事業年度(自2018年4月1日至2019年3月31日)及び当事業年度(自2019年4月1日至2020年3月31日)

当社は、サイン製品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自2018年4月1日 至2019年3月31日)	当事業年度 (自2019年4月1日 至2020年3月31日)
1株当たり純資産	601円02銭	634円93銭
1株当たり当期純利益	54円06銭	44円56銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自2018年4月1日 至2019年3月31日)	当事業年度 (自2019年4月1日 至2020年3月31日)
当期純利益(千円)	201,336	165,977
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る当期純利益(千円)	201,336	165,977
普通株式の期中平均株式数(株)	3,724,579	3,724,579

(重要な後発事象)

該当事項はありません。